



(財) JKA補助事業 平成21年度事業概要

(2)超電導技術の普及啓発・情報提供活動

ア. 超電導応用技術の普及啓発活動(国際超電導シンポジウム・超電導技術動向報告会)

「第22回国際超電導シンポジウム(ISS2009)」を平成21年11月2日～4日の3日間、つくば市つくば国際会議場で開催した。基礎から応用技術にわたる幅広い分野で、国内外の最先端の研究開発・技術開発成果が報告された。参加者は611人(海外より150人、参加国21ヶ国)、発表件数は口頭講演133件、ポスター講演315件の合計448件であり、活発な議論が行われた。さらに、超電導関連材料と製品、技術の展示会も行われ、多数の参加者に超電導製品の紹介がなされた。

また、「超電導技術動向報告会」を平成21年5月25日に都市センターホテル(東京都)で開催した。各国における超電導機器研究開発動向等の基調講演2件を含めて、イットリウム系超電導電力機器開発の進捗、超電導デバイス・フィルタ、線材開発の現状等、11件の発表がなされた。参加者は、国内企業、研究機関、大学、報道関係者及び一般参加者を含め、171名であった。

これらの開催状況については、電子情報誌「超電導 Web21」の特集号として掲載し、広く情報提供を行った。



超電導技術動向報告会



ISS2009 オーラルセッション

- * 超電導技術動向報告会については超電導 Web21 バックナンバー2009年7月号に、ISS2009については2009年12月号に詳細が記載されているためご参照下さい。

<http://www.istec.or.jp/Web21/index-J.html>